

2001年未来基金

活動成果報告

2000年4月10日

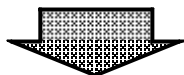
木更津市立清見台小学校

創立30周年記念実行委員会



活動の目標は・・・

1. 創立30周年記念事業のメインテーマである「21世紀に向けた子供たちの夢」に関し、子どもたちが夢や若さのエネルギーを大きく発信できる仕組みづくりを活動目標とする。
2. 具体的には、子供たちが地球規模で行うインターネットを使った国際交流について、学習環境の整備とともに基本的なマナーや意識の持ち方について側面的に支援していく。



具体的な活動にあたっては・・・

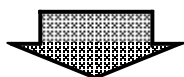
木更津市教育委員会との強い連携の下に活動を展開

- 理由 - 1 : 木更津市の全体計画の中で2001年未来基金を運用することで、基金の有効活用と重複した投資が回避できる。
- 理由 - 2 : 教育委員会に在籍している情報教育に関するエキスパートの先生の指導と助言を得ながらの基金運用が可能になる。
- 理由 - 3 : インターネットに対する基本的なマナーや意識の持ち方についても、専門性と最新性の高い知識が享受できる。



1999年度の活動成果[今回の報告の範囲]

	ページ
活動成果報告書の表紙	--- 1
成果報告にあたって(成果の全体像と課題)	--- 2
成果報告(1.活動資金の確保)	--- 3
成果報告(2.学習環境の整備)	--- 4
成果報告(3.子どもたちや保護者への還元)	--- 5
ニュースファイル(創立30周年関連新聞記事)	--- 6
資料ファイル(2001年未来基金への応募書類)	--- 8



2000年度の課題[新たな学習環境の整備]

1. 「交 流」機能充実：インターネット・テレビ会議システム本格導入
2. 「図 書 室」機能充実：情報検索用インターネット端末の図書室設置
3. 「講 習」機能充実：IT化に関連した自前のインストラクター育成

2001年未来基金		成果報告(1. 活動資金の確保)		3																																														
基本方針		1. 「21世紀に向けた子供たちの夢」をメインテーマとした情報教育環境の整備と活動に関する提案書を「2001年未来基金」に提出 2. 「地球人的発想ができる子どもたちの育成」について清見台小の体験学習ピラミッドに位置付けて活動を展開すること、展開にあたってはボランティアが支援することが提案骨子																																																
活動履歴	H11年	2月	2001年未来基金・教育助成金の公募が新聞発表																																															
		3月	30周年実行委員会が提案書提出 採択決定																																															
		4月	教育助成金の受け入れに関するPTA理事会の承認																																															
		5月	教育助成金の振込み完了																																															
		6月																																																
		7月																																																
		8月																																																
		9月																																																
		10月	全国の採択学校間・情報交換会へ出席																																															
		11月																																																
		12月																																																
		H12年	1月																																															
		2月																																																
	3月	活動成果報告書の作成																																																
活動成果の要約		2001年未来基金に採択された22の機関とテーマ一覧 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学校名・団体名</th> <th>テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福井県 鯖街道ふれあいネット</td> <td>学校間交流ネットワークを生かした学習活動</td> </tr> <tr> <td>千葉県 印旛ネット</td> <td>インターネットで広げよう、印旛の子どもの輪</td> </tr> <tr> <td>鹿児島県 屋久島情報教育研究会</td> <td>テレビ会議を中心とした「環境文化村」構想の教育的実践研究</td> </tr> <tr> <td>福岡県 アジア太平洋こども会議・イン福岡委員会</td> <td>翻訳システム充実によるブリッククラフネットの構築</td> </tr> <tr> <td>大分県 劇団OITA TOYS CLUB</td> <td>演劇を通しての青少年の情操教育</td> </tr> <tr> <td>東京都 東京都高等学校国際教育研究協議会</td> <td>国際理解教育、開発教育ネットワークの基盤構築</td> </tr> <tr> <td>兵庫県 障害児のネットワーク活用研究会</td> <td>「障害を持つ人から見た大阪マップ」をつくろう</td> </tr> <tr> <td>三重県 暁学園暁小学校／大阪信愛女学院小学校</td> <td>キッズ コラボレーション プロジェクト 私立小学校のマルチメディア交流学習の推進</td> </tr> <tr> <td>埼玉県 埼玉県入間市立藤沢南小学校</td> <td>山、平地、海の地域環境調査とコラボレーション授業</td> </tr> <tr> <td>東京都 学校法人サムエル学園 サムエル幼稚園</td> <td>子ども放送局</td> </tr> <tr> <td>愛知県 豊田市立東広瀬小学校</td> <td>地域に働きかけ、共に学び、感じ合う心の育成</td> </tr> <tr> <td>神奈川県 横浜市立本町小学校情報教育研究会</td> <td>マルチメディアプロジェクト学習でふくらむネットワーク</td> </tr> <tr> <td>鹿児島県 宇検村立名柄小学校・宇検村立名柄中学校</td> <td>20世紀最後の卒業生から21世紀の集落の人々へ</td> </tr> <tr> <td>広島県 広島県立西条農業高等学校</td> <td>農業実習における体験の共有化</td> </tr> <tr> <td>大阪府 大阪教育大学附属天王寺中学校</td> <td>中学生のバリアフリーフォーラムにおける駅調査とホームページによる情報公開</td> </tr> <tr> <td>東京都 立正大学学園立正中学高等学校</td> <td>家庭とのインターネット経由のコミュニケーション環境実験</td> </tr> <tr> <td>京都府 京都市立桃陽養護学校</td> <td>ノートパソコンを利用したインターネット利用学習およびテレビ会議システムを利用した遠隔補充学習の研究</td> </tr> <tr> <td>宮城県 宮城県立ろう学校</td> <td>聾学校におけるインターネットを活用した学級指導</td> </tr> <tr> <td>千葉県 木更津市立清見台小学校創立30周年記念実行委員会</td> <td>21世紀に向けた子供たちの夢</td> </tr> <tr> <td>福岡県 福岡市立長尾小学校</td> <td>地域および学校の特色を生かしたインターネット活用の研究</td> </tr> <tr> <td>福井県 福井県小浜市立松永小学校</td> <td>「よくわかり、感動体験のある授業構造の改善」</td> </tr> <tr> <td>新潟県 加茂暁星高等学校(私立)</td> <td>学習理解が十分でない生徒に対するハイパーテキストと動画からなる自主学習システムの開発</td> </tr> </tbody> </table>			学校名・団体名	テーマ	福井県 鯖街道ふれあいネット	学校間交流ネットワークを生かした学習活動	千葉県 印旛ネット	インターネットで広げよう、印旛の子どもの輪	鹿児島県 屋久島情報教育研究会	テレビ会議を中心とした「環境文化村」構想の教育的実践研究	福岡県 アジア太平洋こども会議・イン福岡委員会	翻訳システム充実によるブリッククラフネットの構築	大分県 劇団OITA TOYS CLUB	演劇を通しての青少年の情操教育	東京都 東京都高等学校国際教育研究協議会	国際理解教育、開発教育ネットワークの基盤構築	兵庫県 障害児のネットワーク活用研究会	「障害を持つ人から見た大阪マップ」をつくろう	三重県 暁学園暁小学校／大阪信愛女学院小学校	キッズ コラボレーション プロジェクト 私立小学校のマルチメディア交流学習の推進	埼玉県 埼玉県入間市立藤沢南小学校	山、平地、海の地域環境調査とコラボレーション授業	東京都 学校法人サムエル学園 サムエル幼稚園	子ども放送局	愛知県 豊田市立東広瀬小学校	地域に働きかけ、共に学び、感じ合う心の育成	神奈川県 横浜市立本町小学校情報教育研究会	マルチメディアプロジェクト学習でふくらむネットワーク	鹿児島県 宇検村立名柄小学校・宇検村立名柄中学校	20世紀最後の卒業生から21世紀の集落の人々へ	広島県 広島県立西条農業高等学校	農業実習における体験の共有化	大阪府 大阪教育大学附属天王寺中学校	中学生のバリアフリーフォーラムにおける駅調査とホームページによる情報公開	東京都 立正大学学園立正中学高等学校	家庭とのインターネット経由のコミュニケーション環境実験	京都府 京都市立桃陽養護学校	ノートパソコンを利用したインターネット利用学習およびテレビ会議システムを利用した遠隔補充学習の研究	宮城県 宮城県立ろう学校	聾学校におけるインターネットを活用した学級指導	千葉県 木更津市立清見台小学校創立30周年記念実行委員会	21世紀に向けた子供たちの夢	福岡県 福岡市立長尾小学校	地域および学校の特色を生かしたインターネット活用の研究	福井県 福井県小浜市立松永小学校	「よくわかり、感動体験のある授業構造の改善」	新潟県 加茂暁星高等学校(私立)	学習理解が十分でない生徒に対するハイパーテキストと動画からなる自主学習システムの開発
学校名・団体名	テーマ																																																	
福井県 鯖街道ふれあいネット	学校間交流ネットワークを生かした学習活動																																																	
千葉県 印旛ネット	インターネットで広げよう、印旛の子どもの輪																																																	
鹿児島県 屋久島情報教育研究会	テレビ会議を中心とした「環境文化村」構想の教育的実践研究																																																	
福岡県 アジア太平洋こども会議・イン福岡委員会	翻訳システム充実によるブリッククラフネットの構築																																																	
大分県 劇団OITA TOYS CLUB	演劇を通しての青少年の情操教育																																																	
東京都 東京都高等学校国際教育研究協議会	国際理解教育、開発教育ネットワークの基盤構築																																																	
兵庫県 障害児のネットワーク活用研究会	「障害を持つ人から見た大阪マップ」をつくろう																																																	
三重県 暁学園暁小学校／大阪信愛女学院小学校	キッズ コラボレーション プロジェクト 私立小学校のマルチメディア交流学習の推進																																																	
埼玉県 埼玉県入間市立藤沢南小学校	山、平地、海の地域環境調査とコラボレーション授業																																																	
東京都 学校法人サムエル学園 サムエル幼稚園	子ども放送局																																																	
愛知県 豊田市立東広瀬小学校	地域に働きかけ、共に学び、感じ合う心の育成																																																	
神奈川県 横浜市立本町小学校情報教育研究会	マルチメディアプロジェクト学習でふくらむネットワーク																																																	
鹿児島県 宇検村立名柄小学校・宇検村立名柄中学校	20世紀最後の卒業生から21世紀の集落の人々へ																																																	
広島県 広島県立西条農業高等学校	農業実習における体験の共有化																																																	
大阪府 大阪教育大学附属天王寺中学校	中学生のバリアフリーフォーラムにおける駅調査とホームページによる情報公開																																																	
東京都 立正大学学園立正中学高等学校	家庭とのインターネット経由のコミュニケーション環境実験																																																	
京都府 京都市立桃陽養護学校	ノートパソコンを利用したインターネット利用学習およびテレビ会議システムを利用した遠隔補充学習の研究																																																	
宮城県 宮城県立ろう学校	聾学校におけるインターネットを活用した学級指導																																																	
千葉県 木更津市立清見台小学校創立30周年記念実行委員会	21世紀に向けた子供たちの夢																																																	
福岡県 福岡市立長尾小学校	地域および学校の特色を生かしたインターネット活用の研究																																																	
福井県 福井県小浜市立松永小学校	「よくわかり、感動体験のある授業構造の改善」																																																	
新潟県 加茂暁星高等学校(私立)	学習理解が十分でない生徒に対するハイパーテキストと動画からなる自主学習システムの開発																																																	
清見台小 →																																																		

基本方針

1. 木更津市教育委員会と詳細に打合せを行い、教育委員会の中・長期的な方針に添った形で2001年未来基金を使ったインターネットの環境整備を実施
2. 合わせて、PTA会費で積みたててきた「印刷機更新」の予算も有効に結び付け、保護者がボランティア活動で学校に来た際に気軽にインターネットに触れることができる環境も構築

活動履歴

H 11 年	2月
	3月
	4月
	5月
	6月
	7月
	8月
	9月
	10月
	11月
	12月
	H 12 年
2月	
3月	

4月 木更津市教育委員会との打合せを開始

7月 インターネット学習環境の内容が決定

8月 ボランティアによるLAN配線工事 →

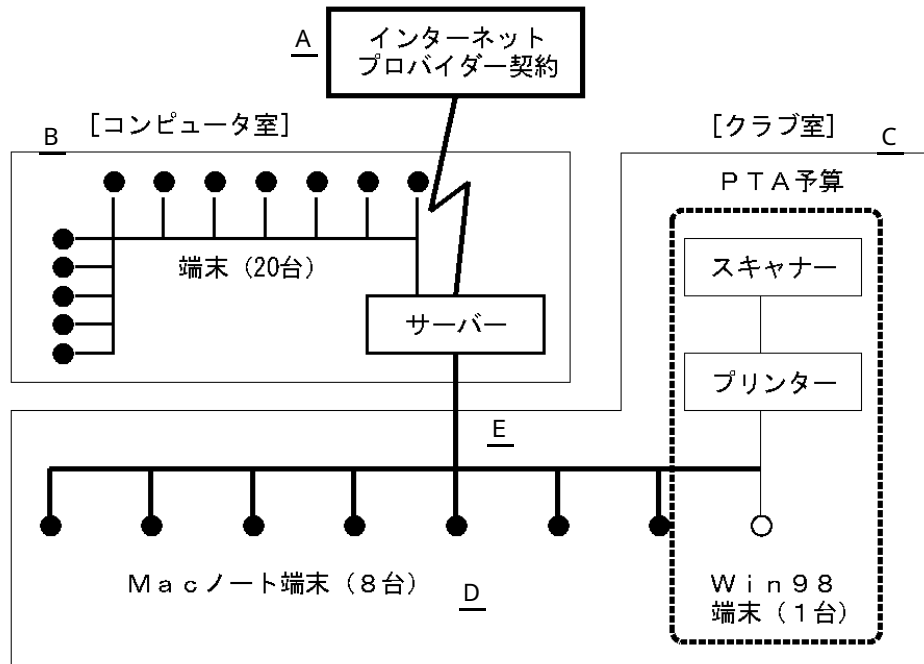
9月 清見台小でインターネット学習開始



構築したインターネット学習環境

- A. NTT・ISDN回線の引き込み、および、インターネットプロバイダー(えでゅけっと)契約 [2001年未来基金]
- B. コンピュータ室の更新 [木更津市予算]
- C. クラブ室へのコンピュータを使った画像編集と印刷、および、インターネットが利用できるシステム機器導入 [PTA予算]
- D. 教育委員会から借用し、メモリー増強等の機能付加を図ったノート端末(8台)のクラブ室への設置 [2001年未来基金]
- E. コンピュータ室からクラブ室へのLAN配線 [2001年未来基金]

活動成果の要約



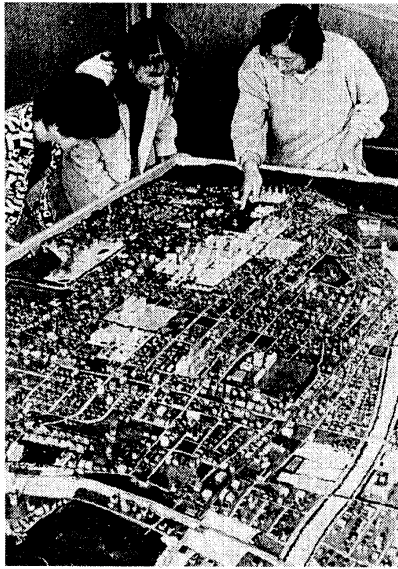
清見台小のインターネット環境(1999年11月段階)

2001年未来基金		成果報告(3. 子どもたちや保護者への還元)		5																									
基本方針		1. 創立30周年記念事業を中心に清見台小を紹介したホームページを作成 2. 9月以降、子どもたちのインターネット教育ができる環境を構築 3. インターネットを使ったテレビ会議システムを試験的に使い、清見台まつりのふれあい・わくわく体験の中で他校の子どもたちとの交流を実現 4. 保護者のためのインターネット教室を開催し、学校への関心の輪を拡大																											
活動履歴	H11年	2月																											
		3月																											
		4月																											
		5月																											
		6月																											
		7月																											
		8月																											
		9月																											
		10月	保護者向けインターネット教室 →																										
		11月	同上第2回 インターネット会議																										
	12月	同上第3回 システム試験利用と																											
	H12年	1月	同上第4回 清見台まつりでの	教育委員会・市原先生の																									
		2月	体験教室	はじめてのインターネット教室																									
3月																													
活動成果の要約		<p>1. 30周年記念事業を中心とした清見台小のホームページ発信</p> (1). 平成11年5月からホームページの発信を開始 (2). 1,000人を超えるアクセス、卒業生からのメール、2001年未来基金採択校からのホームページのリンク、他校からの社会科でのメール交換の提案、他地域の教育委員会からの視察、等々の成果を生み出した <p>2. 子どもたちがインターネット学習を開始</p> (1). 4年生：社会科でのメールによる八千代市立大和田西小との情報交換 (2). 5年生：社会科でのインターネット情報の活用 (3). 6年生：総合的学習での国際理解のためのインターネット情報の活用 (4). クラブ：インターネットを使った情報検索方法の練習、および、それによる国内外の情報収集 <p>3. 清見台まつりでの柏市立中原小学校とのテレビ会議体験</p> (1). 高学年がふれあい・わくわく体験の中でインターネットを使ったテレビ会議を柏市立中原小学校との間で実施 (2). インターネット利用による「地球規模での交流の可能性」を体験 <p>4. 保護者のための「はじめてのインターネット教室」開催</p> <table border="1" data-bbox="432 1547 1390 1809"> <thead> <tr> <th></th> <th>日時</th> <th>受講数</th> <th>主な対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>10月16日 13:00～16:00</td> <td>21</td> <td>応募した保護者中心</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>10月30日 13:00～16:00</td> <td>23</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>11月6日 13:00～16:00</td> <td>23</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>1月29日 9:30～12:30</td> <td>14</td> <td>30周年記念実行委員中心</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td colspan="2">81名(家庭数の約16%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>感想文から今後の参考となる意見を中心に</p> <table border="1" data-bbox="432 1872 1390 2007"> <tr> <td> 1. 楽しかった、わかりやすかった、時間がなくて残念、次ぎの機会を 2. これから始める、奥が深い、自分でやらねば身につかない 3. 次回は「子どもと組んでインターネット」という企画を </td> </tr> </table>				日時	受講数	主な対象	第1回	10月16日 13:00～16:00	21	応募した保護者中心	第2回	10月30日 13:00～16:00	23	同上	第3回	11月6日 13:00～16:00	23	同上	第4回	1月29日 9:30～12:30	14	30周年記念実行委員中心	合計		81名(家庭数の約16%)		1. 楽しかった、わかりやすかった、時間がなくて残念、次ぎの機会を 2. これから始める、奥が深い、自分でやらねば身につかない 3. 次回は「子どもと組んでインターネット」という企画を
	日時	受講数	主な対象																										
第1回	10月16日 13:00～16:00	21	応募した保護者中心																										
第2回	10月30日 13:00～16:00	23	同上																										
第3回	11月6日 13:00～16:00	23	同上																										
第4回	1月29日 9:30～12:30	14	30周年記念実行委員中心																										
合計		81名(家庭数の約16%)																											
1. 楽しかった、わかりやすかった、時間がなくて残念、次ぎの機会を 2. これから始める、奥が深い、自分でやらねば身につかない 3. 次回は「子どもと組んでインターネット」という企画を																													

木更津の清見台小の創立30周年

型にはまった式典よりも…

「心に残る事業を」



住宅地図をもとに図面を敷いて作製した清見台小学校学区のジオラマ。5月から半年かけて完成させた

木更津市清見台南一丁目の清見台小学校(押野見邦彦校長、児童数六百七十八人)が今年で創立三十周年を迎えるのを機に、同校OBや地域住民らが子どもたちの交流を深めようと記念事業活動に取り組んでいる。校庭にある遊具の修復や三十周年記念誌の発行、花壇作製などを行うとともに、二十日は地域との交流イベントも開く。実行委員会は「型にはめた式典よりも、子どもたちが自分の住むまちを愛せるような、心に残る内容にした」と話している。

OBら200人も地域と交流

村橋会長は「これまででは児童と先生、保護者を中心の輪だった。しかし、二十一世紀を生きる子どもたちに必要なのは、地域のおじさんやおばさんとの交流ではないか」と話す。

二十日は同校で「みらいへはははは清見台まつり」を開催する。午前には在校生らが調べた同校の歴史などを発表し、午後は一般市民を交えた体験イベントを実施する。

また、鉄棒のペンキ塗り替えなど修復作業のほか、学区内の三地区(清見台南、太田、東太田)を表現した花壇なども作った。この作業をきっかけに、学校へ頻繁に足を運んだ保護者が、子どもと共通の話題が増えたと喜ぶ姿もあったという。

保護者や地域の人のための交流を重視するため、スポーツに限らず、昔の遊びや和太鼓なども予定している。

さらに「障害者が元気にスポーツをする様子を見たり、対戦を通じて障害を克服する生き方を知ってほしい」と、(同)と、足に障害のある人たちが構成する車いすバスケットチームを招く計画だ。

産経新聞(平成11年11月14日)

木更津清見台小30周年

学区住民が知恵と力

きょう記念のまつり

事業展開のキーワードを受け、インターネットで袖小の歴史を知る、二十世紀のきつんとした足跡を残す、二十一世紀に子供たちの夢をテーマに学区住民を巻き込んで進めてきた創立三十周年記念事業の締めくくりとして、二十日午前九時から「未来へはははは清見台まつり」を開く。

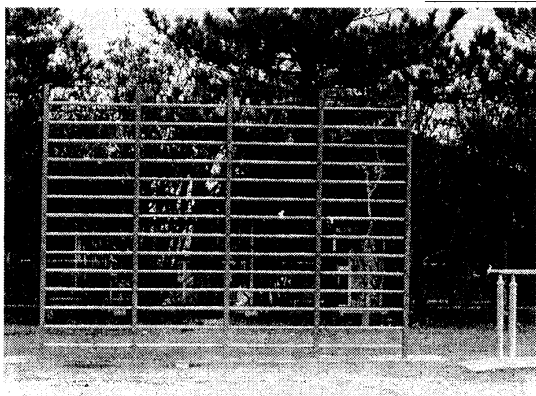
東郊の丘陵地帯に位置する同小は土地区画整理事業で誕生した新興住宅地であり、昭和四十五年に開校し、約四千七百人の卒業生を送り出している。

昨年九月に同小の保護者や教職員らでつくる「三十周年記念実行委員会(土佐康夫委員長)が発足。従来の記念事業にありがちな寄付金を集め、採資を招いて仰々しく式典を挙げるお仕着せ方式は取りやめる代わりに、知恵と力を出し合いユニークな記念事業を行うことで一致した。

記念事業が目的ではなく、子供たちと事業に実践的にかかわることで「二十一世紀に向けて夢が継続的に発信できる仕組みづくり」に役立てようとの考え。活動資金は寄付金を当てにせず、バザーやサイクルの収益金を積み立てた。

事業展開のキーワードを受け、インターネットで袖小の歴史を知る、二十世紀のきつんとした足跡を残す、二十一世紀に子供たちの夢をテーマに学区住民を巻き込んで進めてきた創立三十周年記念事業の締めくくりとして、二十日午前九時から「未来へはははは清見台まつり」を開き、須田勝勇市長の話のほか、昔遊びや折り紙など二十種目の「ふれあい、わくわく発信」が中心となる。体験「車いすバスケット体験」などを行う。

来基金」から教育助成金を

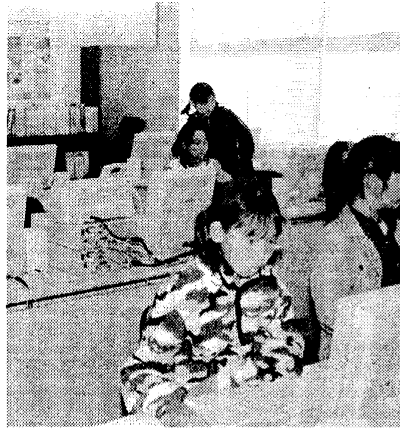


運動場の遊具も新しくなった

千葉日報(平成11年11月20日)

はばたけ未来へ

木更津市立清見台小 創立30周年祝う



柏市立中原小児童とインターネットでテレビ会議を行う清見台小児童ら

木更津市立清見台小学校（押野見邦彦校長、児童数六百七十八人）が二十日、「二十一世紀に向けた子供たちの夢」をテーマに取り組んできた記念事業の締めくくりにして「未来へはばたけ清見台まつり」を開き、創立三十周年を祝った。

昨年九月に発足した「三十周年記念実行委員会」（土佐康夫委員長）のホランテイアらが取り組んだ学区の民家の一軒まで忠実に再現した「ジオラマ」をはじめ、塗り替えりフレッシュな遊具、パソコンなどを駆使した手作りの記念誌、市のコンテストに応募した学

校花壇などが披露された。午後からは高学年と低学年がスポーツや遊びから理科実験やパソコン・インターネット体験など二十種類のうちから一種目を選択できる「ふれあい、わくわく体験」と身体障害者らでつくる「千葉ホークス」選手らとの「車いすバスケット体験」を交互に体験した。

記念事業の総決算として、「未来へはばたけ清見台まつり」が行われ、午前中は児童が清見台学区探検や同地区の三十年など、学年ごとに古里の歴史について発表。土地区画整理組合理事長として清見台の宅地造成に深く関わった須田勝勇市長が苦労話を語った。

千葉日報（平成11年11月21日）



パソコン・インターネット体験
を楽しむ子どもたち



～ インターネットを体験して ～

ぼくたちは、柏市立中原小学校と通信しました。ぼくは、インターネットをやるのが初めてだったので、とても楽しみでした。互いの音声がとどくとは、思わなかったのでおどろきました。お互いの小学校の事や、はやっているゲームや遊びなどを聞き合いとても良い体験になりました。

応募用紙

2001年未来基金」運営委員会 御中

1999年 3月12日

学校名・団体名	木更津市立清見台小学校 創立30周年記念実行委員会		
代表者名	土佐 康夫（実行委員長）	応募担当者	村橋 喜満（応募責任者）

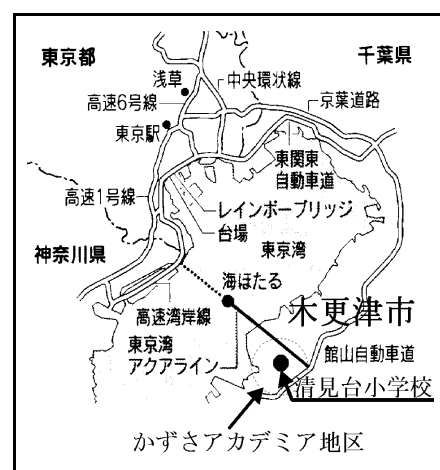
郵送物送付先 ならびに連絡先			
宛先担当者名	村橋 喜満		
TEL		FAX	イメージファイルをE-mailで送って下さい
E-mail			

助成対象プロジェクトの概要

テーマ	21世紀に向けた子供たちの夢
期間	1998年 9月 ~ 2000年 3月 迄
助成希望金額（消費税込み）	1,000,000 円
参加学校種別	小学校
	参加する学校の具体名（木更津市立清見台小学校）
先生だけの参加である	いいえ
助成の種類	単独
本基金以外に助成を受けている	いいえ
プロジェクトの形態	記念事業、国際交流、体験学習

プロジェクトの背景

1. 木更津市立清見台小学校は今年、創立30周年を迎える。
2. 清見台小学校は、房総半島内湾の中心都市・木更津市の東部丘陵地帯に位置している。小学校が位置する清見台地区は宅地造成事業により生まれたニュータウンで、この地区には、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、工業高等専門学校、さらには、大学があり、幼稚園から大学まで一貫した教育機関があるという全国的にもユニークな教育・文京地区である。
3. 現在の児童数は691名（99年3月6日段階）。昭和45年（1970年）開校以来、既に約4,700人の卒業生を送り出している。
4. 今年11月20日の創立30周年に関する記念事業のメインテーマは、『21世紀に向けた子供たちの夢』とし、昨年9月に発足した父母と先生で構成する30周年記念実行委員会が中心となり事業骨格を検討している。



創立30周年記念事業のメインテーマは・・・

21世紀に向けた子供たちの夢

応募用紙

プロジェクトの目的

30周年記念実行委員会は、『21世紀に向けた子供たちの夢』というメインテーマを実現していくための記念事業の検討にあたり3つの基本的な方針を提示した。一点目は、『清見台小の特色』が出せる事業、二点目は『21世紀に向けて継続性が確保』できる事業、さらに、三点目は、清見台小の開校精神である『国際社会において信頼と尊敬を得る日本人の育成』を発展的に展開し、『21世紀に向けた子供たちの夢という大きな発信』へつなげていける事業の選定である。

すなわち、メインテーマである『21世紀に向けた子供たちの夢』の具現化にあたっては、今回のプロジェクトを契機に21世紀に向け継続的に発展させながら、子供たちが夢や若さのエネルギーを大きく発信できる環境や仕組みづくりが今後の重要な課題となる。

今回のプロジェクトの目的は・・・

21世紀に向け継続的に夢が発信できる仕組みづくり

期待される効果

地球規模でのグローバル化が社会的な動きとして急速に進展してきている。21世紀に向けた大きな夢の発信は、明日を担う子供たちが世界規模で行う交流をその原点として位置付け、その地球規模での交流にあたっての基本的なマナーや意識の持ち方について側面的に支援していきたいと考えている。

特に、最近のインターネットの普及に伴い、世界な規模でのハード的な連携や交流は非常に容易になった。しかし、この動きの中で大きく出遅れているのが、連携や交流に伴うソフトの充実である。インターネットを使えば地球規模での自由な交流は仕掛けとして一応は可能なものの、注意を怠れば、知らず知らずのうちに有害な情報の影響を受けたり、他人を傷つけてしまうこともある。

今回のプロジェクトの実行を通して、その成果として、21世紀に向けた大きな夢の発信を行う子供たちが最低限身につけなければならぬ自己防衛や自己責任の考え方やありかた、さらには、他人への配慮の仕方や考え方をきちんと自分のものとさせた上で、子供たちが地球人的発想で世界の子供たちと自由な交流が図れる様、具体的取り組みを推進していく。

今回のプロジェクトの成果として期待する子供像は・・・

世界との交流を通して地球人的発想ができる子供

活動の具体的な内容

昨年12月に新学習指導要領が文部省から告示された。その目玉は、2002年からの『情報教育を含めた体験的学習を通して、自ら学び、考え、生きる力を育成するための総合的学習の導入』である。この最大の狙いは、体験で得た事を学習の中で理論や理屈づけを行い、学習効果をさらに高めることにある。

幸いにも清見台小の場合は、平成9年と10年に千葉県助成を得て体験的学習を主体とした『夢を育む教育』を推進してきた。その結果、体験を主体に学習で振り返ることによる学習効果の向上、メインとなる体験については父母(PTA)と協力し合って取り組むことで『人手、バイタリティとある程度の活動費』が確保でき、さらなる学習効果が得られることが明らかになった。

このような実践体験を踏まえ、平成11年度以降は清見台小の体験学習ピラミッド(右図参照)を明らかにした上で、これまでの『夢を育む教育』から『親子で取り組む夢を育む教育』として発展的に継続していく予定である。

木更津市の小学校には情報教育設備が整備されていないことから、今回のプロジェクトを契機に、『国際理解』(*1)の中で、世界の子供たちとインターネットを使った交流体験について父母と協力しながら推進していきたい。

清見台小の体験学習ピラミッド

1年	情操 体験 活動	福祉 体験 活動
2年		
3年		
4年		
5年	環境教育・ 奉仕体験活動	国際理解
6年		
共通		

今回のプロジェクトの具体的な進め方は・・・

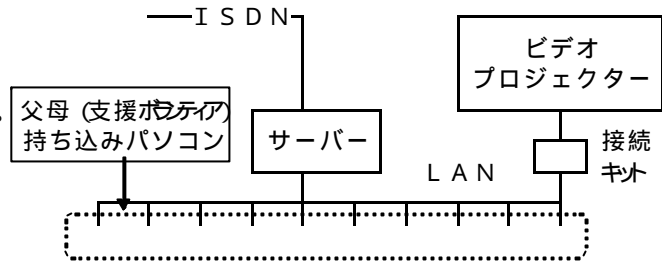
*1：具体的には、11月の30周年記念式(子供文化祭)と1月ワールド集会を目指して活動を展開予定

世界の子供たちとの交流を体験学習の中に

応募用紙

システムの概要

1. 父母を中心とした支援ボランティア・グループが持ちこんだ20台程度のパソコンを簡易LANで結んだネットワーク環境を構築する。
2. LANはサーバーを経由してISDNに接続する。
3. 全校児童と世界の子供たちとの交流のために、ビデオプロジェクターの利用も可能とする。

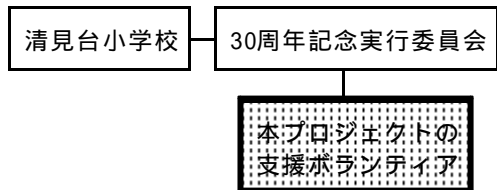


システム構築を含めた支援体制は・・・

体験学習はボランティアの父母が支える

実施体制

1. 父母を中心に先生も参加したボランティアが活動の中心となる。
2. 活動で得たノウハウは支援ボランティアグループに集約する。
3. 今回の活動を継続的に発展させ、将来的にはプロジェクトの成果を活かし、より地域に根づいた活動を展開していくことにより、地域のプラットフォーム的存在を目指す。



支援ボランティアグループが指向するものは・・・

将来的には地域のプラットフォーム的存在

スケジュール

[基本方針] 活動を具体的に5段階に別け、それぞれを確実に実行することでステップ・アップを図っていく

1. 事前準備段階 : 創立30周年記念事業に関するインターネット・ホームページの作成 (99年3月迄)
2. 環境整備段階 : インターネット利用に関するハード、ソフト、指導者、教育等の環境整備 (99年8月迄)
3. 第1次トライ : 30周年記念式(子供文化祭)での世界の子供たちとの交流に向けた体験学習 (99年11月迄)
4. 第2次トライ : ワールド集会での世界の子供たちとの交流に向けた体験学習 (2000年1月迄)
5. 成果のまとめ : 今回のプロジェクトの成果をきちんとまとめることで伝承基盤を構築 (2000年3月迄)

	1998年				1999年												2000年			備考					
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
Schedule	30周年実行委員会発足				プロジェクト開始												30周年記念式(子供文化祭)			30周年記念ワールド集会			プロジェクト完了		
	インターネットホームページ準備				ハード、ソフト、教育の環境整備												全校児童との交流(第1回)			全校児童との交流(第2回)					
					体験学習(1)												体験学習(2)								
																	成果まとめ								
	事前準備段階				環境整備段階				第1次トライ				第2次トライ				成果のまとめ								

プロジェクト実行にあたっての基本は・・・

Not hurry, but surely (急がず、あわてず、着実に)